

令和元年度 有田町立曲川小学校 学校生活アンケート【児童回答分】の結果

データの見方

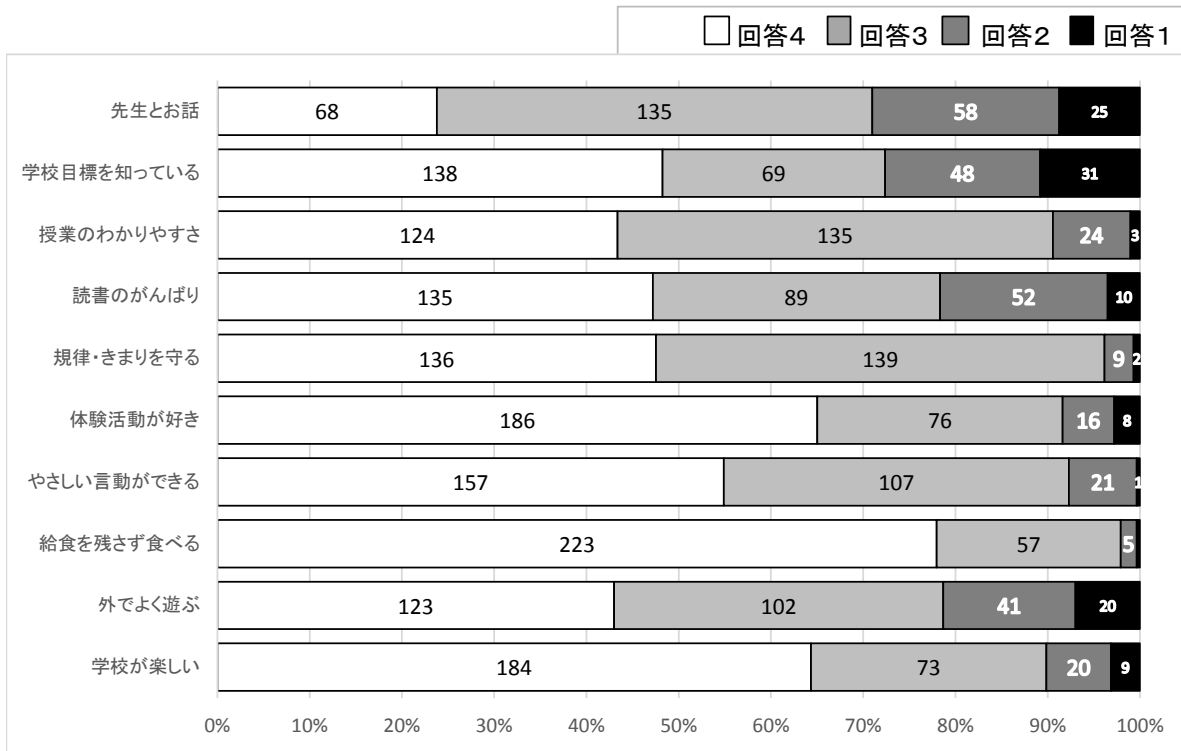
アンケート対象は曲川小学校全児童となっております。

1ページ目に全校分の結果を、2ページ以降は学年ごとの結果を記載しております。

曲川小児童全体の回答結果

【質問項目と回答】

1 先生と一緒に遊んだりお話をしたりしていますか。	④とてもしている ③まあまあしている ②あまりしていない ①していない
2 学校目標を知っていますか。	④よく知っている ③だいたい知っている ②あまり知らない ①知らない
3 先生は、勉強を分かりやすく教えてくれますか。	④とても分かる ③だいたい分かる ②少し分からない ①分からない
4 目標冊数をめざして図書室の本を読んでいますか。	④頑張っている ③少し足りないと思う ②あまり読んでいない ①読んでいない
5 学校のきまり(登校、挨拶、時間など)を守っていますか。	④いつも守っている ③大体守っている ②あまり守っていない ①守っていない
6 焼き物・米・野菜作りなど作ったり育てたりする勉強は好きですか。	④とても好き ③まあまあ好き ②あまり好きではない ①きらい
7 友達の気持ちを考えて話したり行動したりしていますか。	④いつもしている ③ときどきしている ②あまりしていない ①していない
8 給食を残さず食べていますか。	④いつも食べている ③ほとんど食べている ②あまり食べていない ①食べない
9 用事がない15分休みや昼休みは外に出て遊んでいますか。	④いつも遊んでいる ③時々遊んでいる ②あまり遊んでいない ①遊んでいない
10 学校は楽しいですか。	④とっても楽しい ③まあまあ楽しい ②あまり楽しくない ①楽しくない



【考察】

「学校が楽しい」という項目では、約90%の児童が概ね楽しいと回答しているものの、楽しくないと答えている児童も見受けられることから、今一度、子どもたちの現状把握や嫌な思いをしている子がいらないか等子どもたちの悩み、困りごとにしっかり向き合い、子どもたちの気持ちに寄り添い、誰もが楽しいと思える学校づくりに取り組んでいく必要があると考えます。

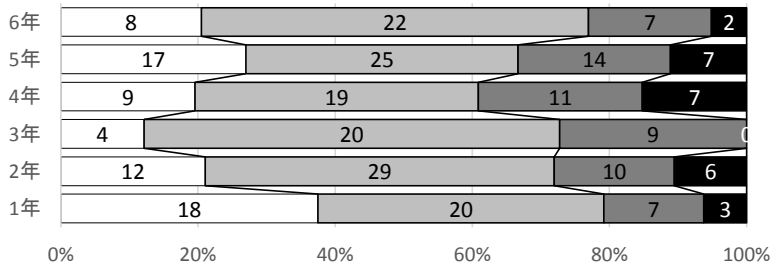
そのためにも、子どもたちと向き合う時間の確保が必要だと考えます。しかし、学校現場では休み時間、昼休み、放課後と補充学習に充てる時間となったり、学校行事の取り組みに充てたりと、一人一人の子とじっくり向き合う時間が確保できていないのが現状です。「先生とお話」の結果からも、時間確保の課題がわかります。今後は、子どもたちに真摯に寄り添い、解決すべき問題と向き合うために、家庭、地域とこれまで以上に連携しながら、子どもたちの健全育成に取り組んでいく必要があると思います。

「授業のわかりやすさ」については、91%の児童が"とても分かりやすい"、"まあまあ分かりやすい"と回答しており、職員の日頃の取組みと共に、児童の日々の頑張り、ご家庭のサポートが結果として表れていると考えます。学力検査結果等からも、前年度からの向上が見られます。

一方で「学校目標の周知」「読書のがんばり」「外遊び」の項目に若干達成度の低い結果が表れており、個人差が見られます。機会あるごとに声かけをし、目標の周知、読書・外遊びの奨励を図っていきます。

曲川小児童学年ごとの回答結果

先生との会話

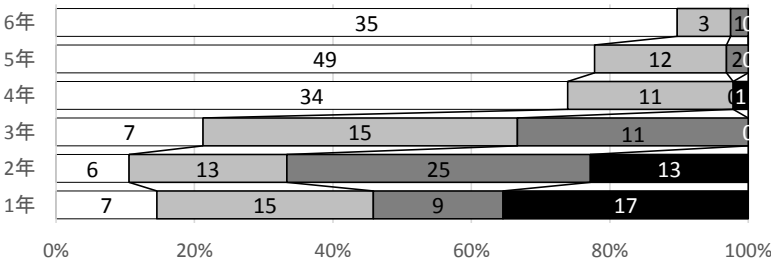


□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1

【考察】

全体的に、先生と一緒に遊んだり、お話をしたりできていないと回答している子が多い。休み時間、昼休みも学習保障や委員会活動、学校行事の取組等で子どもたちとじっくり向き合う時間を見出せない現状である。行事の精選や家庭や地域の協力を得て、少しでも子どもたちの声にこたえるように努めます。

学校目標の周知

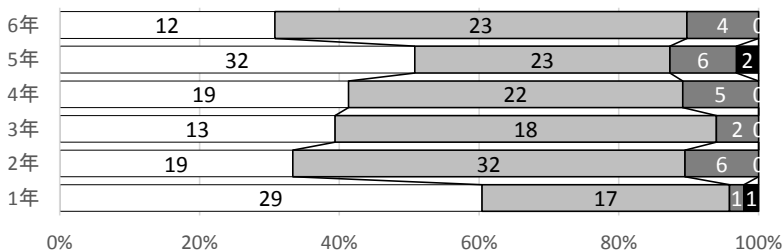


□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1

【考察】

学年が上がるにつれて、周知が進んでいます。高学年は全ての児童がほぼ周知していると言えます。今後は、低学年にもわかりやすく学校教育目標を周知していき、目指す姿を具体的にイメージさせるなど、学校教育目標の行動化につなげていけるように指導していきます。

授業のわかりやすさ

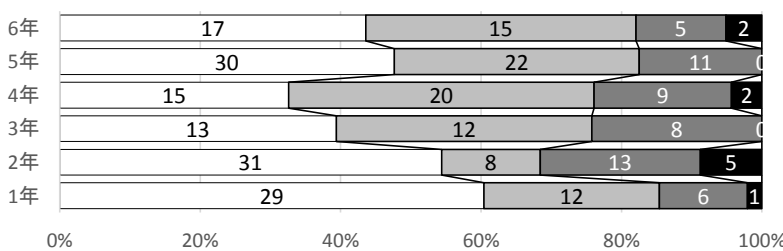


□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1

【考察】

どの学年も、「とても分かる」「だいたい分かる」と回答している子が多いですが、5年生、1年生において若干名「分からない」と回答している子も見られます。それぞれの児童の「分からない」ことに寄り添い、楽しく分かる授業を心がけていきます。

読書のがんばり

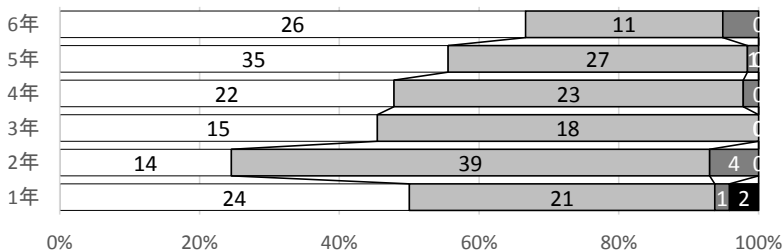


□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1

【考察】

学年学級によって、図書室に通う児童数に差があります。担任からの声かけだけでなく、よく読書をする友だちがいることも、図書室へ通うきっかけになっているようです。今の時期にしか出会えない本により多くふれるように声かけをしていきます。朝読書の時間は、今後も確保し、全校児童のみんながしっかりと本を読めるようにしていきます。

規律・きまりを守る



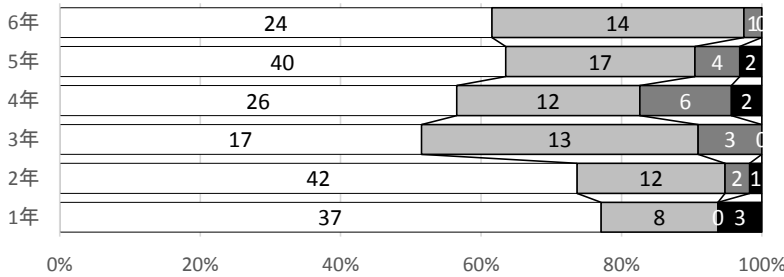
□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1

【考察】

規律、きまりを守らなければならないという規範意識は、全学年高いですが、実際の学校生活で本当に守れているかという点、意識と行動には差があります。社会(学校)生活を営み、人と関わる上でとても大切な価値観ですので、今後も家庭や地域と協力して、意識と行動が一致する子どもたちの育成に努めます。

体験活動が好き

□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1

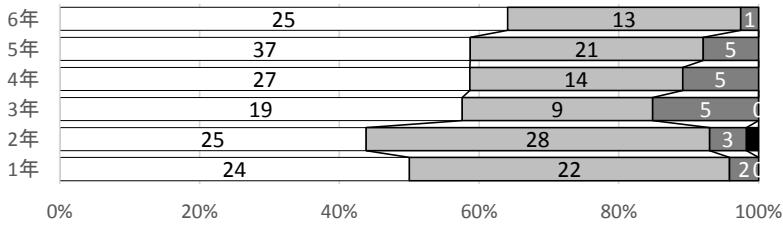


【考察】

概ねどの学年も「作る」「育てる」といった体験活動に好んで取り組んでいるようです。授業時間が制限される中、体験活動そのものの教育的意義やその活動のもつ特性をしっかりと精査して、今後も地域の方々と連携し、有意義な活動として実践していきたいと思います。

思いやりのある言動

□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1

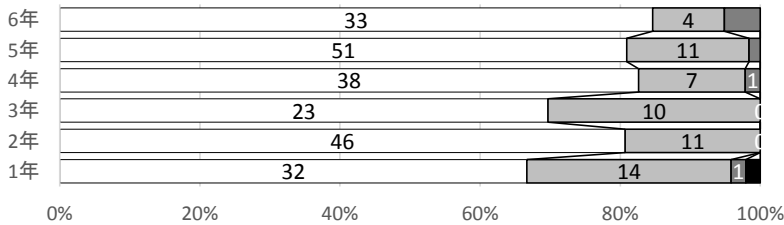


【考察】

概ね上学年になるほど、回答4「いつもしている」割合が増加傾向にあります。道徳教育、人権・同和教育等々で子どもたちが人権意識を高めていると考えます。一方、場や状況、相手の立場を考えずに、相手の嫌がることや悲しむことをしている子もいるのが現実です。自分の言動を振り返り、善悪の判断力を身に付けられるように、全教育活動で取り組んでいきます。

給食を残さず食べる

□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1

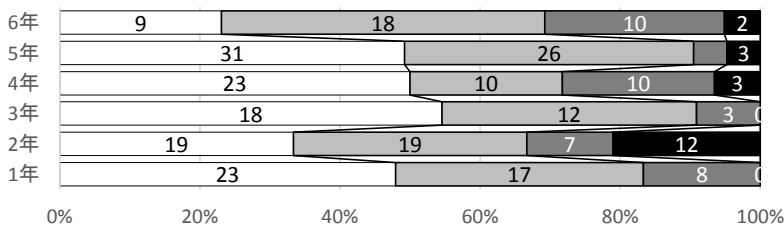


【考察】

学校全体として、どの学年もしっかり食べています。好き嫌いも少なく、残菜もほとんどありません。食が学力向上、体力向上、豊かな心の育成にもつながります。今後も栄養のバランスの取れたおいしい学校給食を提供し、しっかり食べて元気に過ごしてほしいと願います。

外でよく遊ぶ

□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1

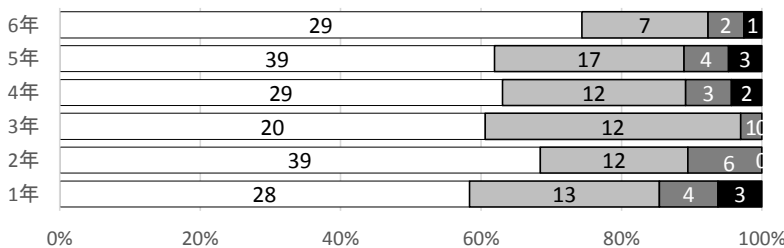


【考察】

学年に応じて、委員会活動、学校行事の取組、学習内容の高度化等々、休み時間に取り組まなければならないことが増えてきますので、どうしても遊べないことがあるようです。また、宿題等すべきことをしていなかったことが原因の児童もいます。すべきことはした上で、可能な限り、外で遊ぶ時間にはしっかりと遊ぶよう声掛けをしたいと考えます。

学校が楽しい

□ 回答4 ■ 回答3 ■ 回答2 ■ 回答1



【考察】

どの学年も「とっても楽しい」「まあまあ楽しい」と考える児童が85%以上を占めています。一方で、「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた児童もいます。今後も、教育相談週間等を定期的に設定して個別に話を聞く時間を大切にし、担任だけでなく全職員で対応をしていくようにします。